

参 考 資 料

資料 1 別紙

■市町村ヒアリング結果（対象：政令市を除いた全41市町村）

1-1 人材の不足状況

○コーディネーター不足 23市町村（今後不足が考えられる 27市町村） 56.1%（65.9%）

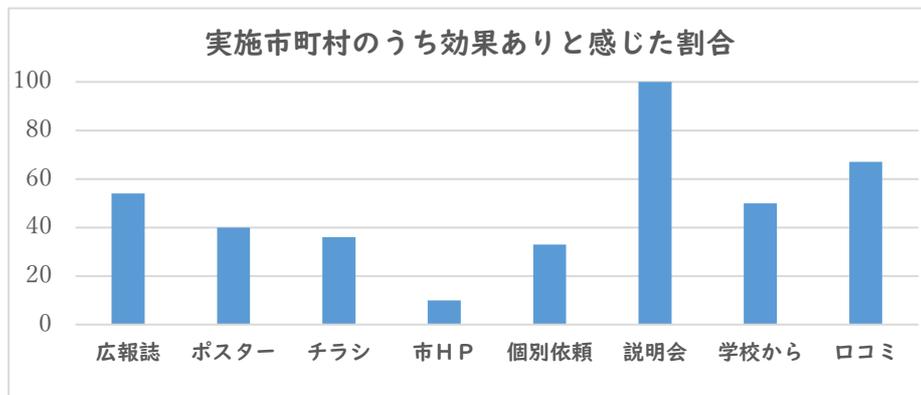
○ボランティア不足 24市町村 58.5%

○安全管理員不足 28市町村 68.3%

→コーディネーター・ボランティア・安全管理員のどれも不足 17市町村 41.5%

- ・豊能地区 1/5市町 ・三島地区 1/5市町 ・北河内地区 4/7市
- ・中河内地区 0/3市 ・南河内地区 7/9市町村
- ・泉北地区 2/4市町 ・泉南地区 2/8市町

1-2 コーディネーター・ボランティア・安全管理員確保の取組み



	広 報 誌	ポ ス タ ー	チ ラ シ	市 H P	個 別 依 頼	説 明 会	学 校 か ら	ロ コ ミ
効果ありと回答した市町村数	7	2	5	1	1	3	2	4
実施した市町村数	13	5	14	10	3	3	4	6

1-3 学生の活用

○現在 23校の大学が協力している（うち教育学部のある大学は7校）

○大学生を活用している市町 34市町（うち連携しているのは13市町）

○有償での活用 23市町 無償での活用 11市町

大学生を活用している市町村数

活用あり 83%（うち連携しているのは32%）

活用なし 17%

1-4 新規人材確保に関するその他の取組み

- 近隣の高校との連携（3市町）
- 生涯スポーツ認定登録会の時に、信頼できる人材に声をかけている（1市）
- ボランティア団体が集まる機会に伺い、ポスター掲示や呼びかけを実施（1市）

■コーディネーター・ボランティア対象アンケート中間結果 ※回答者 892人

（対象：政令市を除いた全41市町村）

2-1 回答者の年齢

	70代以上	60代	50代	40代	30代
回答率 (人数)	33% (290人)	23% (208人)	20% (181人)	18% (161人)	4% (35人)

2-2 活動に関わるようになったきっかけ（複数回答可）

	学校からの呼びかけ	友人・知人に勧められて	所属団体の活動として	ボランティア活動に関心	市町村からの呼びかけ
回答率 (人数)	34% (304人)	33% (292人)	30% (269人)	19% (173人)	13% (112人)

2-3 活動に参加する目的（複数回答可）

	学校の活動に協力する	子どもたちの力になる	子どもたちと活動する	多くの人と知り合う	知識・経験等を生かす
回答率 (人数)	58% (521人)	51% (456人)	48% (428人)	32% (283人)	31% (275人)

2-4 活動による自身への影響（複数回答可）

	子どもや保護者から声かけ増加	地域に知人が増えた	地域の人とよく話す	地域の課題に関心	学校の教育活動に関心
回答率 (人数)	64% (571人)	52% (462人)	50% (450人)	41% (362人)	34% (307人)

2-5 活動するにあたって困っていること（複数回答可）

	特にない	メンバーの固定化	人材不足	学校との連携	仕事との両立
回答率 (人数)	41% (364人)	34% (302人)	22% (199人)	9% (76人)	6% (53人)